

事業名	水源地域緊急整備事業(通常)	事業箇所	南アルプス市 高尾	地区名	高尾西(たかおにし)	事業主体	山梨県
(1)事業概要						(3)事業の妥当性評価	
①課題・背景		<p>本計画箇所は、南アルプス市高尾 平岡地区を流れる一級河川深沢川の上流に位置している。森林の林分が過密であるため森林の保安機能低下や近年の豪雨により山腹が崩壊すると共に溪流では溪岸浸食が発生し、溪床の荒廃が顕著となっていることから、森林整備等により、保安林の機能をより高度に発揮する必要がある。</p>				①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)	
						○	
②整備目標・効果						②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)	
						○	
□主要目標						③経済妥当性	
○森林機能の維持・向上 要整備森林の状況(ランク) 4≥3※ 林分密度(Ry) 0.9 ≥0.8※ 山地荒廃率(%) 2.2 ≥0.5※		費用便益費 便益(B)/費用(C)= 4.36 >1.0 ・便益(B)= 720 百万円 ・費用(C)= 165 百万円					
□副次目標		④事業実施・規模の妥当性					
○土石流被害の防止 保全対象 人家20戸、県道0.5km、林道2.0km 公共施設1棟(公会堂)、災害弱者施設1棟 緊急度・危険度 10≥10点 ※ 被害軽減額 365≥340百万円 ※		○					
□副次効果		⑤整備手法の有効性					
○飲雑用水の安定供給(上宮地区水道施設)		○					
		⑥環境負荷への配慮					
		○					
		⑦事業計画の熟度					
		○					
		<p>・地元南アルプス市より強い要望あり</p> <p>&lt;妥当性評価&gt;</p> <p>・7項目全て妥当であることから、妥当と判断する</p>					
		(4)事業間優先度評価					
		・貢献度ランク: a 副次効果ランク: 1 優先度評価: S I					
(2)整備内容と整備量		(5)総合評価					
①整備内容		○					
②整備期間							
③総事業費							
④全体計画							
⑤規整備内容・期間・事業費							
嵩上工1基 谷止工6基 山腹工0.20ha 森林整備4.0ha							
平成26年度～平成28年度							
約180百万円(国費84百万円(1/2)、県費96百万円(1/2))							
平成26年度 嵩上工1基 谷止工1基 森林整備2.0ha 40百万円							
平成27年度 谷止工2基 山腹工0.20ha 森林整備2.0ha 60百万円							
平成28年度 谷止工3基 80百万円							
昭和41年度 床固工1基 3百万円							
昭和55年度 谷止工1基 13百万円							
平成2年度 谷止工2基 50百万円							
平成5年度 谷止工1基 36百万円							
		【事業位置図等】					
		省略					